

環境省

自然環境保全センター

自然環境保全センター

自然環境保全センター

自然環境保全センター

自然環境保全センター

自然環境保全センター

自然環境保全センター

自然環境保全センター

自然環境保全センター

自然環境保全センター

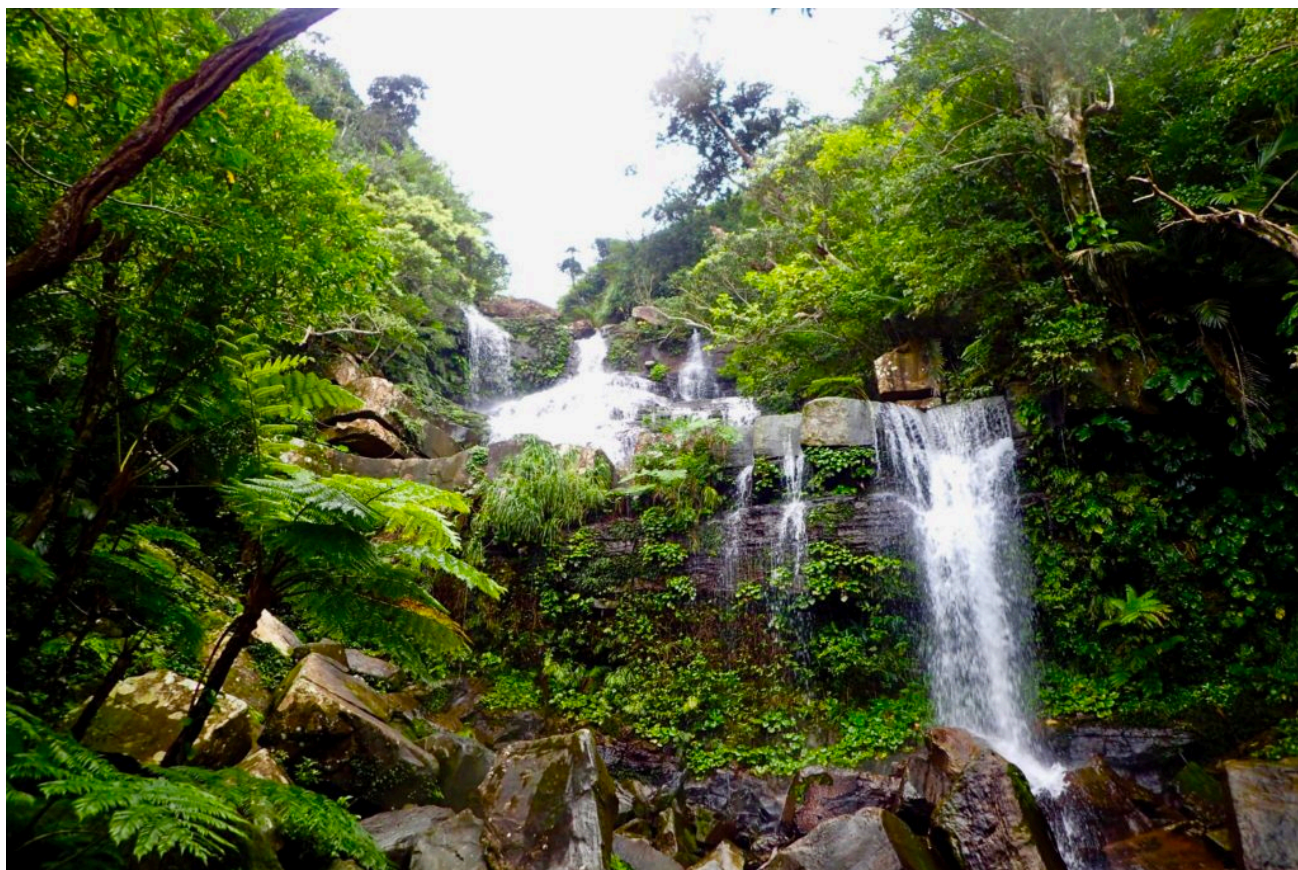
自然環境保全センター

自然環境保全センター

自然環境保全センター

自然環境保全センター

<http://www.env.go.jp/nature/kisho/wildlifecenter/iriomote.html>



F U K U S H I M A

フクシマの 医療人類学

原発事故・支援のフィールドワーク

辻内琢也 増田和高

編著



[協力]

震災支援ネットワーク埼玉 (SSN)
早稲田大学災害復興医療人類学研究所

生きることを諦めない

原発事故で浜通り地区から避難してきた人々の記録

toyoi
shobo
遠見書房

福島県立医科大学 人文系のフィールドワーク

増田和高

遠見

[\[Blue link\]](#)

[Text]

[Text]

[Text]

[Text]

[Text]

[\[Blue link\]](#)

[Text]

◆ [Text]

[\[Blue link\]](#)

◆ [Text]

[\[Blue link\]](#)

[Text]

◆ [Text]

[\[Red link\]](#)

★ [Text] ★

[Text]
[Text] URL [Text]
[Text]

[Text]

<https://goo.gl/forms/Q9HjKXJ8p4eM8udX2>

◆ [Text]

[\[Blue link\]](#)

ヒトゴトじゃない、 奨学金の問題。

いま、大学生の約半数が利用しているといわれる奨学金制度。2012年からその返済問題が社会的な課題として取り沙汰され、日本の奨学金制度は6年を経て大きく変わりつつあります。

この変化は私たち学生や返済当事者を取り巻く環境をどう変えていくのでしょうか。

このイベントが、ご来場の皆さまにとって「奨学金」と「将来デザイン」を考えるきっかけとなれば幸いです。

対象
どなたでも
お気軽に！

奨学金と将来デザイン

- これから社会へ出る「私たち」の声 -

2019年2月2日[土]

開場 12:30

開演 13:00

入場無料

名古屋港ポートビル 4階 講堂

地下鉄名港線「名古屋港」駅 3番出口より徒歩5分

鴨田讓 弁護士による基調講演

調査報告

「学生の声をカタチに。」

～奨学金アンケートから考える私たちの未来～

愛知県 学費と奨学金を考える会 (ATS)

トークセッション

「奨学金の現在と望まれる未来」

鴨田讓 (弁護士・埼玉弁護士会)

大内裕和 (中京大学国際教養学部教授)



講師

鴨田讓 さん

弁護士。2011年、埼玉総合法律事務所入所。埼玉弁護士会所属。埼玉奨学金問題ネットワーク事務局長と奨学金問題対策全国会議事務局次長を兼任。奨学金が返済できない方の破産手続や奨学金返還訴訟を起こされた方の代理人として裁判を行っている。本人が借りた覚えのない奨学金について返還請求を起こされた裁判で全面勝訴（請求棄却）判決を獲得。著書『奨学金 借りるとき返すときに読む本』（弘文堂、共著）。

主催



愛知県 学費と奨学金を考える会
Aichi Prefectural Association for Tuition and Scholarship

Mail syougakukin.as@gmail.com
Facebook https://www.facebook.com/aichi.ATS/

